

日本の環境首都コンテストが めざすもの



環境首都コンテスト全国ネットワーク
山田 岳（かながわ環境市民ネットワーク）

1

「日本の環境首都コンテスト」 の目的

自治体の切磋琢磨をうながし
持続可能な地域社会のモデル
「日本のフライブルク」を
市民のエコひいき
によって創り出す。

持続可能な開発

● 将来世代の欲求をみたくつつ、現世代の欲求を満足させるような開発

- 環境と開発に関する世界委員会（ブルントラント委員会）
1987年

- わたしたちが**資源**を使い果たしたら・・・
- わたしたちが**ごみ**の山を築いたら・・・
- わたしたちが**地球の平均気温**を上昇させたら・・・
- わたしたちが**田畑**を荒らしてしまったら・・・
- わたしたちが**世界を戦場**にしてしまったら・・・

子どもや孫の世代はどうなる？

「アジェンダ21」（1992年）

- 地球サミットで採択
- **温暖化、砂漠化、ジェンダー、貧困など
21世紀の課題についての行動計画**
- 「アジェンダ21で、提起されている諸問題及び解決策の多くが地域的な活動に根ざしているものであることから、**地方公共団体の参加及び協力が目的達成のために決定的な要素になる**」（28章）
- 世界中の自治体に対して、ローカルアジェンダ21の策定と実行を求めた

モデル

ドイツ 自然・環境保護の連邦首都 (環境首都) コンテスト

- ・ 1990～98年まで 9回実施
- ・ 主催は、NPO「ドイツ環境支援」
- ・ 第1回参加は30市町村、
最終回で223市町村（最多）の参加
- ・ 1位=首都として表彰

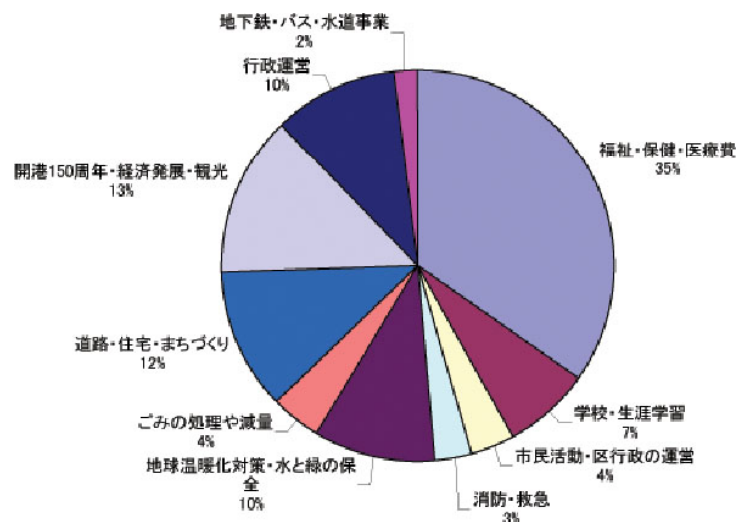
- 90年 エアランゲン市
- 91年 エアランゲン ネットルスハイム村
- 92年 フライブルク市
- 93年 ネットルスハイム村
- 94年 エッカーンフェルデ市
- 95年 パート・エインハウゼン市(自然保護部門)
- 96年 ハイデルベルク市
- 97年 ミュンスター市 98年 ハム市



エッカーンフェルデ市中心街

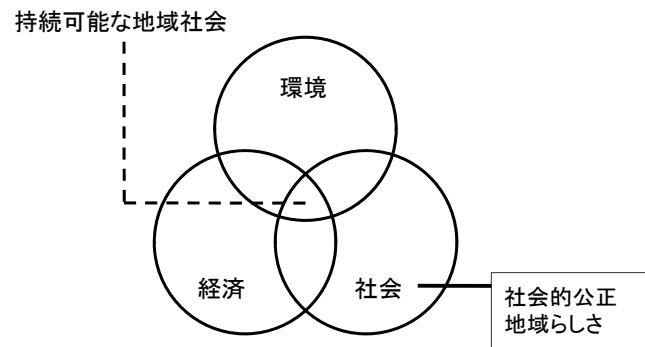
資料提供：環境市民

自治体の抱える課題



🌍 **ごみ処理対策費を減らさないで、教育費・福祉費が出ない**

持続可能な社会とは



● 環境・経済・社会をボトムラインとする社会

7

環境首都コンテストの質問票

- 持続可能な地域社会づくりに必要なことを質問
- 選択肢は政策提案でもある
- 毎回、改訂し練りあげられている
- 環境分野に限定されていない



8

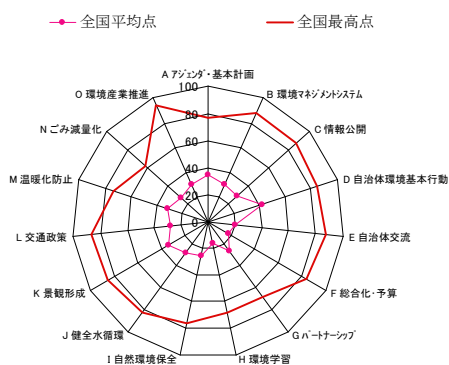
質問分野

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| A LA21・環境基本条例・
環境基本計画 | I 自然環境の保全と回復 |
| B 環境マネジメントシステ
ム (ISOなど) | J 健全な水循環 |
| C 環境情報の開示 | K 風土を活かした風景づくり |
| D 庁舎内の環境行動 | L 持続可能なまちづくりと一
体化した交通政策 |
| E 自治体間交流 | M 地球温暖化防止・エネル
ギー政策 |
| F 職員能力の向上、総合的
な行政施策・予算編成 | N ごみの減量化 |
| G 住民力向上と協働 | O 環境に配慮した産業振興 |
| H 地域に即した環境学習 | P 自由記述 |





9

結果をレーダーチャートで評価

配点に対する得点率(%)



当該自治体の結果について

-  全国最高点
 -  全国平均点
 -  人口規模別最高点
 -  人口規模別平均点
- と、比較し診断

環境首都コンテストの表彰

- ・ 環境首都の称号（後述の条件）
- ・ **総合 ベスト10位**
- ・ **人口規模別**（1～6群） 各1,2位
- ・ **地球温暖化防止部門** 1位（各人口規模群別）
- ・ **住民参画部門** 1位（各人口規模群別）
- ・ 先進事例特別事例 約30事例
- ・ 質問分野別表彰 A～O各分野1位
- ・ 奨励賞 5回連続参加自治体

環境首都の条件

- **総合第1位**であること
- **総合点が満点の70%以上**であること
- **3分野以上で満点の90%以上**を獲得していること
- **満点の50%以下が3分野以下**であること

第8回 総合入賞自治体

総合順位

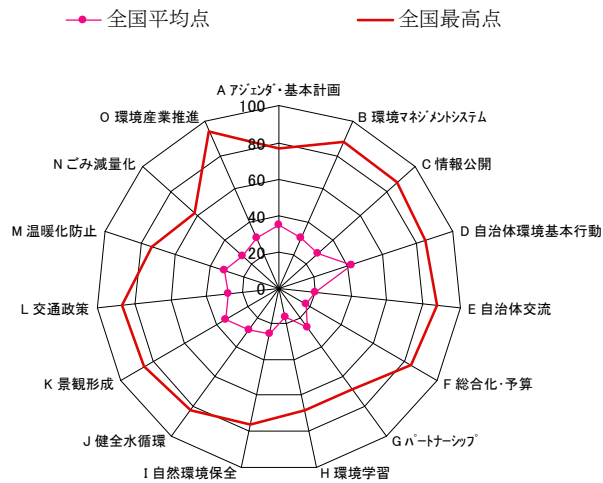
- 第1位 水俣市 (熊本県)
- 第2位 長野市 (長野県)
- 第3位 飯田市 (長野県)
- 第4位 安城市 (愛知県)
- 第5位 新城市 (愛知県)
- 第6位 宇部市 (山口県)
- 第7位 尼崎市 (兵庫県)
- 第8位 熊本市 (熊本県)
- 第9位 板橋区 (東京都)
- 第10位 多治見市 (岐阜県)



13

環境首都の誕生も近い

配点に対する得点率(%)



先進事例集DVD

挑戦—地域から日本を変える—

毎年 東京でセミナーも開催

第3集 高島町、飯田市、北九州市
第2集 板橋区、多治見市、水俣市
第1集 住民参画
ニセコ町、大和市、津山市、熊本市
(財)ハイライフ研究所との協働



17

環境首都をめざす自治体全国フォーラム



11月24, 25日
安城市で開催

日本の環境首都コンテスト地域 交流会

- ・ 環境首都コンテストの成果、分析
- ・ 先進事例の発表
- ・ 自治体間、NGOとの交流

関東地区は
11月12日（木）
東松山市で開催



05九州地区交流会

9 10 版 2006年 平成18年 6月25日 日曜日 第100号 発行 発行所 九州

環境ルネサンス

環境首都コンテスト 2006年 順位発表

◎ 環境首都賞 500点以上
◎ 環境副賞 500点未満

- ◎ 環境首都賞 593
- ◎ 環境副賞 529
- ◎ 環境副賞 514
- ◎ 熊本県 507
- ◎ 九州環境賞 506
- ◎ 環境副賞 483
- ◎ 大分県 488
- ◎ 環境副賞 436
- ◎ 熊本県 432

めざせ「環境首都」

「日本の環境首都をつくる」と、京都府のNPOが目標として掲げる「環境首都コンテスト」に自治体の関心が高まっている。地球温暖化が進むなか、この分野が持続可能な社会づくりの鍵とされている。その取り組みを支援する「環境首都」をテーマにしたコンテストが、5月20日の発表では熊本県発表が2位で輝いた。だが自治体の関心は高まる一方で、環境首都とはなにか、何をめざすのか、自治体の関心は高まっている。

コンテスト1位 水俣市 負の遺産 教訓

熊本県水俣市が、環境首都コンテストで1位を獲得した。水俣市は、水俣病の被害を受けた地域であり、負の遺産を教訓として、環境首都を目指す。水俣市は、水俣病の被害を受けた地域であり、負の遺産を教訓として、環境首都を目指す。

ドイツ視察のNPO発表

京都府にあるNPO「環境市民」(会員70人)が、ドイツ視察の報告を発表した。ドイツは、環境首都を目指す。環境市民は、ドイツ視察の報告を発表した。

人口規模別のトップ自治体

- 人口100万人以上 福岡県北九州市
- 人口50万人以上 福岡県福岡市
- 人口10万人以上 福岡県北九州市
- 人口5万人以上 福岡県北九州市
- 人口1万人以上 福岡県北九州市

環境首都コンテストに参加する 自治体のメリット

- 持続可能な地域社会に向けて前進できる
- 自己の施策・政策を第三者的に評価できる
- 自治体内の他部署の動向を把握できる
(縦割りを打破して総合化するきっかけ)
- 他の自治体の動向・情報を知ることができる
(先進事例)
- がんばった施策には表彰状がもらえる

日本の環境首都コンテスト 参加自治体の職員のみなさんの声

「他の自治体職員方の取り組みが励みになっています。毎年少しずつでも得点があがるようがんばります」
「市長が環境首都をめざすと言っていることから、やりがいをもって参加しています」
「第1回から連続して参加してきたなかから、本市の課題が少しずつ実現可能なものになりつつあります」
「部長決裁により回答・資料作成を行ってきましたが、第5回から首長みずから決裁。結果も庁議で報告しています」
「第三者機関からの評価という視点で参加しています」
「全国のレベルがあがってきているのを感じます」
「環境行政の問題や課題を把握でき、全国の優れた取り組みの情報を得られるところが参加するメリット」

環境首都コンテスト全国ネットワーク

環境エネルギー政策研究所（東京）
FoE Japan（東京）
ふるさと環境市民（神奈川）
かながわ環境教育研究会（神奈川）
やまなしエコネットワーク（山梨）
中部リサイクル運動市民の会（愛知）
環境市民・東海（愛知）
環境市民（京都） **主幹事団体**
未来の子（広島）
くらしを見つめる会（高知）
環境ネットワークくまもと（熊本）
プラス・エコ（大分）
環境ネットワークながさき塾（長崎）

参加協力団体

住みよい環境をつくる三鷹市民連絡会（東京）
エコサポートT-GAL（鹿児島）

2009年9月 現在

環境首都コンテストから見えてきた 持続可能な地域社会への7つのポイント

- 人づくり
- 明確なビジョン
- 持続可能なまちづくりを進める戦略
- パートナーシップ（協働）
- 環境・経済・社会のバランス
- 行政の総合化
- だれでもわかる先進事例

1. 人づくり 尼崎市 「YAAるぞ運動」

- 役所のカイゼン運動（QC活動）
- 職場単位のグループで目標を定めて取り組む
- グループには名前を付ける
「燃焼系2コスト式（こんな運動してみたら）」クリーンセンター
「包括・民活・メンチ（メンテ）カツ」浄化センター
- 結果発表は部内予選を経て本選へ（YAAるぞカップ）

- 実行委員会が主催
- ユニークな取り組みには市長が訪問して意見交換
- そのもようを「やあるぞ通信」で共有

「YAAるぞ運動」成功 のポイント

- ① 基本研修5回全てに市長が参加
- ② “ほめること”“楽しむこと”の徹底
- ③ 様々な仕掛けとネーミング



2. ビジョン

私たちが創りあげる^{あした}明日の福知山

空は青く澄みわたり、緑あふれる野山には、小鳥のさえずりが聞こえ、由良川にはたくさんの魚が泳ぎ、子どもたちの歓声が聞こえてくる。

花と緑でいっぱいのまちなかは、広々としていて、誰もが歩きやすい。商店街では福知山で収穫された有機野菜たちが店頭をにぎわし、たくさんの買い物客がお店の人と楽しい会話をしながら買い求めていく。

市民は誰もが「もの」を大切にし、クリーンなエネルギーを活用するよう心がけている。

明日の福知山には、お年寄も、若者も、みんなが手をとりあって笑顔で暮らし、学び、行動する姿が見える。

3. 戦略； 水俣市の戦略

「水俣病の教訓/負の遺産/失敗の経験」 を将来に活かす

- 徹底した対話
- 地元学（あるもの探し）
寄ろ会
村丸ごと生活博物館
- 人づくり
環境マイスター
- 外の風
環境研修ツアー受け入れ



4. 環境・経済・社会 高齢者が主役（上勝町）

● 彩り事業

料理の添え物に使う
葉っぱを高齢者が栽培
上勝町の基幹産業

● 介護予防事業

ふとんのリサイクルによる
座布団づくりすることで
要介護になることを防止ぐ

● 福祉タクシー

公共交通がないため、
登録ボランティアが自家用車を提供



5. パートナーシップ

野洲市 地域通貨で市民共同発電



加盟証

野洲の地域通貨券

すまいる

使えます。 ECOLocal.YASU.COM
野洲地産地消推進協議会





すまいる市でお買い物に
5%使えて地産地消



銅鐸博物館入場
料200円の半額
使える

市内50事業所
でも利用可能



集まったお金
で文化会館駐
輪場に太陽光
発電設置

31

6. 行政の総合化

多治見市 政策形成ヒアリング

- 予算編成時、当該部局に対する財務部局のヒアリングに環境部局が同席
- 予算請求に対して、環境基本計画の観点から意見を述べる
(事業を環境の観点から見直す)
- ひとつの事業を多面的にとらえる
- 環境に好ましくない事業を減らすことにより予算削減

用水路改修

ビオトープ
市職員めだか勉強会
企画から工事まで**住民参画**



2001年



2004年

33

7. だれでもわかる先進事例 東松山市 ホタルの里づくり事業



- 対象地域の選出から整備工事、整備後の活用まで**市民参画**
- **地域コミュニティ再生**にも貢献
- 湧水地の保全や休耕田の**自然景観保全**にまで波及している
- **他地区の整備**にも波及するなど**市民のエンパワーメント**につながっている
- 「**被爆二世の柿の木**」植樹など、**平和の取り組み**にもつながっている

34

『環境首都コンテスト ～地域から日本を変える7つの提案』



● 学芸出版より絶賛発売中